



う え の き た し ょ う
上野北小だより

だい ご う
第8号 2023(R5).9.27

はつこうしゃ こうちよう たなか ともひこ
発行者 校長 田中 智彦

ぜん こく が くりょく がくしゅうじょうきょうちようさ (じ どう し つ もん) け っ か
全国学力・学習状況調査【児童質問】結果から

が つ お こ な ぜんこくがくりょく がくしゅうじょうきょうちようさ じ どう し つ もん け っ か いちぶ けいさい
4月に行った全国学力・学習状況調査の「児童質問」結果の一部を掲載します。

A	こうていきかいどう 肯定的回答	している	当てはまる	1 時間以上
B		どちらかといえば、している	どちらかといえば、当てはまる	
C	ひていきかいどう 否定的回答	あまりしていない	どちらかといえば、当てはまらない	1 時間未満
D		全くしていない	当てはまらない	

No	「児童質問」内容	全国		本校	
		肯定	否定	肯定	否定
1	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81	19	71.9	28.1
2	自分には、よいところがあると思いますか	83.5	16.5	65.7	34.3
3	将来の夢や目標を持っていますか	81.5	18.5	90.7	9.3
4	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	70.7	29.3	56.2	43.5
5	土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日あたりどれ位の時間勉強をしますか	52.5	47.5	31.2	68.8
6	学校の授業時間以外に普段、1日あたりどれ位の時間、読書をしますか	60.1	39.9	37.4	62.6
7	読書は好きですか	71.8	28.2	71.9	28.1
8	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	63.7	36.3	34.4	65.6
9	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	81.9	18.1	96.9	3.1
10	あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	77.2	22.8	87.5	12.5
11	国語の勉強は好きですか	61.5	38.5	65.6	34.4
12	国語の勉強は大切だと思いますか	94.2	5.8	100	0
13	国語の授業の内容はよく分かりますか	85.7	14.3	84.4	15.6
14	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	92.8	7.2	100	0
15	算数の勉強は好きですか	61.4	38.6	59.4	40.6
16	算数の勉強は大切だと思いますか	94.2	5.8	93.8	6.2
17	算数の授業の内容はよく分かりますか	81.2	18.8	81.2	18.8
18	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	93.3	6.5	100	0

ぜんごう ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちょうさけつか あわ じどうしつもんけつか み ぶんせき
前号の全国学力・学習状況調査結果と併せて児童質問結果を見て、分析しました。

まず、No.11～18 に注目してみると、国語・算数の両教科とも、本校の子どもたちは全国と比較しても大きく変わらない事が伺えました。子どもたちの多くは両教科の学習が好きで、必要性も感じながら取り組んでいることが分かります。No.9、10 を見ると、なかまと協力して意欲的に学校生活を送っていることも伺えます。結果、No. 3 のように、将来への夢や希望を描いている子どもたちが多くいることにつながっているのだと思います。こうしたことは、本校の大きな強みであると思います。

それに対して、No.4～6 を見てみると、家庭学習や読書の取組時間が少ないのは気がかりです。No.7 を見ると、読書が好きな様子は全国と比べても大きく変わらないだけに、読書の時間がとれない原因があるのではないかと考えられます。No.1 を見ると就寝時刻も遅くなる時があるようです。考えられる要因の一つ



として、スマートフォンやゲーム、テレビといった画面を見る時間(スクリーンタイム)が長くなっていることが考えられます。生活習慣や生活リズムを見直す必要性があるのかもしれませんが、是非、ご家庭でも子どもたちとお話いただき、スクリーンタイムを減らし、家庭学習や読書の時間を増やせるように、お声かけをお願いしたいと思えます。

また、No.8を見ると、ここでも自らの考えを表現することに課題があることが見受けられます。前号でも紹介したように、子どもたちは話を聞くこと(インプット)は得意なようですが、話したり書いたりするアウトプットに苦手感があるようです。思考力を高めるためにはアウトプットすることが重要だといわれています。人は自分の言葉で表現することで、知識を獲得しているのだそうです。子どもたちが自ら話したくなるような対話型の授業が行えるように、これからも研修を積み重ね、日常の授業の中で自ら表現し、その表現方法も工夫できるような授業に改善していきます。

こうした取組を丁寧に続けていくことで、子どもたちに「できる」喜びを味わわせ、No.2の自分のよさを自分で感じられるような子どもたちに育て、将来の夢や希望が現実のものとなるような力を育んでいきたいと考えています。

子どもたちが自らの成長を実感し、自己肯定感が高まるような実践を積み重ねていきますので、ご協力の程、よろしく願いいたします。

ブレイクタイム

先日、西山の方々のご協力の下、5年生が棚田で稲刈り体験をさせていただきました。西山の棚田へ向かう路線バスに乗り込み、さあ、出発というときに、「お願いします」の大きな声。何人もの子どもたちが笑顔で元気にお願ひしていました。今から始まる稲刈りを楽しみにしている気持ちが伺えました。同時に、お世話になる運転手さんにも、こうして自然と声が出る姿がとても微笑ましく、心温まる時間でした。